

第5期恵庭市総合計画 各種団体説明会

日時 平成27年8月25日(火) 10:00~11:10

会場 恵庭市民会館 2F 大会議室

参加人数 45名

1. 開会
2. あいさつ
3. 第5期恵庭市総合計画について
4. 質疑応答

(市民) 総合計画の将来都市像が出ているが、人口減少や市民の所得も減っていく中で、恵庭をどのように維持していくのか具体的な戦略が見えてくるといい。例えば除雪。人が減っている状態の中で維持し続けるのか。コンパクトシティという言葉が出ているが、都市部に公営住宅のようなものを建てて、郊外で農業をやっている方もいる。だが、都市部の公営住宅から通っていただいて働く。郊外にあまり住まないところに行けば除雪を維持する必要も無い。そういう戦略は考えているのか。

(事務局) 恵庭市では公共施設マネジメントを実施している。今ある公共施設は維持費等が非常にかかっている。施設の老朽化問題もある。恵庭市で持っている建物28万㎡の約半分が30年以上経っている。ここ10年、20年の間にほとんどの建物が更新期を迎える。ただ、全ての建物の更新費を算出すると膨大な金額になってしまう。全部更新することは難しい。28万㎡のうちの一部は、これから時間をかけて建物を減らしていくことになる。それについては基本方針で議会にも示している。具体的にどの部分を減らす等は決めていない。減らすといっても機能維持ということで、例えば黄金ふれあいセンターのように子育て施設と高齢者施設と地区会館を一緒にするとか、そういう形で複合化していくことを考えている。

問題は道路や上下水道などのインフラ事業。一人でも使っていれば、どんなに老朽化してもなくすわけにはいかない。これについても計画を練っている最中である。公共施設の更新や維持、管理については30年くらいをかけて、できるだけ無理の無い形で縮小させることを考えている。

(市民) 具体的な総合計画の施策、実施計画については、まだまだこれから決めていかれると思うが、この計画の中で人を育てる、人と人とのつながり、人が育ち文化育むまちと出ている。その中で例えば私もPTA活動として、または各種団体が学校と子どもの教育に携

わっている。そういうものが恵庭の計画の中でどのような関わりを期待されるのか。指針として示していただくと、活動していくヒントになると思う。

この計画の中で各種団体が人を育てるということで、携わっていく部分にどういうことを期待しているのか。その辺の詳細を具体的に書いていただけると、活動する側として助かるし、活動しやすくなる。

**(事務局)** 市民まちづくりトークでも、人と人とのつながりが最も重要という意見が出た。子育てについても、子どもだけでなく親も参加できるコミュニティスクールがあり、地域でつながる取り組みを行なっている。今後も「心豊かな思いやりを持った子どもを育てよう」ということで、コミュニティスクールの他にも通学合宿や子ども塾等も続けて、地域社会と家庭教育をつなげていくための取り組みをしていかなければならないと考えていて、基本計画書に載せようと思っている。

**(市民)** 昨年度、市民まちづくりトークに参加した。その時に小さい時から幼稚園、小学校、中学校の過程で子どもたちに障がいを知ってもらいたいということで、そういう教育を組み込んでほしいと意見した。昨年度から1年経ったが、そのような動きは取り入れたのか。

**(事務局)** 子どもの頃からの障がいに対する考え方や、障がい者に対する接し方については、今のところ行政の施策としてすでに取り入れている動きはない。だが、助け合って命を大切にするという教育は必要と考えている。基本計画書には発達に心配のある方、お子さんに対する触れ合い方を市民全体に啓発することが重要で、計画に盛り込んで、取り組みたいと思っている。

**(市民)** 障がいを持った子どもの親が一番大変。子どもたちも自分の障がいを周りが知っていないと理解してもらるのが難しい。小さい時から、こういう特徴がある、こう接してほしい等を、私たち団体が学校や色々な場所に出向いて、障がいについて話しても全然構わない。

以前よりテレビ等で報道されることも増え、障がいに対する理解が深まったとは思いますが、現在、高齢の方も多くなっているし、私たちが話のできる機会を設けていただけるように、計画の中にこういう取り組みを入れていただきたい。

**(事務局)** 学校の授業でやっていただけるかはわからないが、実際に最前線の現場でやっている方の声を子どもに聴かせられるような取り組みを実施できないか、という意見は必ず教育現場に伝える。また、学校現場だけでなく地域社会の集まり（出前講座等）でも、講師として活動できるように検討していきたい。

**(市民)** 第5期総合計画の根底の理念になり得るノーマライゼーションの考え方を全部に生かしてほしい。障がいのある人、無い人や高齢者等が皆、安心してつながっていくことが大事だと思う。

**(市民)** 学校現場で困り感のある子どもたちをどのように恵庭市は育てていくのか。全国的に学校教育のユニバーサルデザインは広まっている中で、恵庭市もそういう理念を掲げて市民全体がつながるようなまちづくりをしていただきたいので、具体的な施策をお願いしたい。

**(事務局)** 恵庭市は特別支援教育に力を入れている。今の意見も担当部署に伝える。

**(市民)** 資料13ページ市民まちづくりトークまとめに色々と施策が出ているが、恵庭市の施策として一番盛り上げていきたいものを絞りきれないと、見えてこないと思う。例えば観光・イベントを軸にして、他の施策もやっていくというような形にすれば、恵庭市はどこを目指しているのか見えてくる。言葉だけではわかりづらい。具体的な数値の戦略等が出てくるといい。恵庭市として軸を決めて、その軸に付随して取り組んでいく戦略は考えているのか。

**(事務局)** 総合計画は恵庭市で一番大きな計画。基本的には市のやる仕事を全て網羅している。全部の施策が載っていて総花的になってしまうのは仕方がない部分はある。

人口減少時代で自治体の消滅に煽りがかかっている中で、恵庭市が生き残っていくために何に力を入れていけばいいか。やはり恵庭に来てもらいたいということで、人口増加にもつながる移住・定住。東アジアからの観光客が増え続けている現状で、恵庭市にも花や自然等の、人を呼び込める環境がある。そういうところを利用した観光にも力を入れていきたい。人に住んでもらうことが恵庭市の当面の主たる柱になると考えている。

## 5. 閉会